

リウマチ診断直後に松本医院を受診され
早期に回復されている方。

「～病気は自分で治すもの～という松本先生の
言葉に心から共感」匿名希望 53歳

2016年8月28日

私がリウマチを意識し始めたのは、昨年の夏頃、朝起きた時に両手がむくんだようになって、握りにくさを感じたことからでした。それ以前にも拍手をすると、両手の指の関節がぶつかる度に少し痛みを感じたことがありました。そのこともあって、もしかしてリウマチの可能性があるのだろうかと不安を感じたのでした。しかし、1、2週間もするとそのむくみは次第になくなり、不安な気持ちもそのうち忘れてしまいました。

それが、今年の初め頃から手の指の関節に微かな痛みを感じ始めたのです。ちょうどその時期に、人間ドックを受けることになっており、追加検査項目にリウマチの検査があるのを見て以前抱いていた不安を思い出し、1度調べてもらったほうがいいのかと考えました。検査を受けたところ、リウマチであるとの結果が出たのでした。

私は以前から、母から薬、特にステロイドの恐ろしさを聞かされており、西洋医学の治療方法に疑問を抱いてはいましたが、結局何処の病院に行けばいいのか分からず、とりあえずは何処か大きな病院にでも行ってみようかと考えていました。その時、弟がインターネットでステロイドを使用しない病院を探し出し、漢方薬を処方する松本医院のことを教えてくれたのでした。漢方薬は子どもの頃から馴染みがあったので、それなら安心だと思い、早速、松本先生のもとを訪ねたというわけです。

病院に行くまでにインターネットで松本先生の論文や患者さん方の手記を読んだ時点では、理論は難しいものの自分なりに少しは理解できたつもりでいました。しかしまだ先生にお会いするまでは、なんとなく、「漢方薬でリウマチが治るのだ」つまり「薬に病気を治してもらうのだ」そんな考えを持っていました。ところが、先生とお会いして話を伺っているうちに、病気を治すのは薬ではなく、自分自身の免疫だということがよく分かり、自分の認識を新たにしました。これは覚悟をもって臨まないといけない、要は自覚が大切だ、そんな気持ちになりました。

早速、漢方薬を煎じて飲んでみると、始めの頃はトイレに行く回数が激増し、体中の水分が出ていくのではないかと感じるほどでした。これで大丈夫なのかという気持ちにもなりましたが、それだけ薬の効果が出ているのだろうと良いように解釈し、不安な気持ちを振り払うようにしました。また、急にのぼせたようになり、頭だけが発汗するような状態にもなりましたが、これはきっと更年期障害の症状であったのだと思います。そして2、3ヶ月すると次第に手足のむくみも発汗も収まっていきました。

しかし、もともと仕事が忙しかったこともあり、アシクロビルと、2種類の漢方薬を煎じて飲むことや、お灸を手足にすえることを毎日欠かさず行うのは大変で、次第にできない日が増えてきました。するとそれまでほとんど症状らしいものはなかったのに、ある頃から足の土踏まずの辺りに痛みを感じるようになりました。先生にお電話をした際その事を告げると、「アシクロビルを増やしましょう。」と言われ、一日に4錠を4回飲むようになりました。やはり治療に真面目に取り組めていなかったからだと反省し、それからは、とにかく薬を飲まない日はなくそうと心に決め、日々の生活の中に治療をしっかりと組み込むことを心掛けています。

現在は足の痛みもなく、時々、朝に手のこわばりがあるくらいで、ほとんど痛みは感じていません。先生のおっしゃるアトピーはまだ出ていませんが、近いうちにその日が来ることを信じて、毎日治療を継続しているところです。

相変わらず忙しい日々の中で、治療に専念できず焦りを感じることもありますが、そんな時、松本医院のホームページを開いて先生の文章や他の患者さんの手記を読ませていただければ、つくづくほかの病院に行かなくてよかったと思います。現在の西洋医学の在り方に疑問を持ち、強い信念を持って一人でその危険性を発信し続けておられる松本先生に心から感謝しております。